

学校だより 7月号



平成20年 7月 1日

京都市立稲荷小学校 校長 吉田茂雄

TEL.641-0057 Fax.641-7660 <http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/inari-s/>

早いもので、もう7月(文月・July)となりました。学校では、毎日プールから歓声が聞こえています。あと3週間、しっかりと学習をして、夏休みを迎えます。

2日(火)は自由参観日です

今回の自由参観日の2校時は、不審者に対する避難訓練を行います。伏見警察署の方にも来ていただき、防犯に関する話等も聞かせていただきます。教室の授業だけでなく、このような時間も参観していただければと思います。

また、参観日に限らず、時間の空いたときにお子達の様子を見に来ていただいて結構ですので、いつでも学校に足を運んでください。

22日(火)より個人懇談会が始まります



4月からの子ども達の学校での様子や夏休みの過ごし方を話し合う「個人懇談会」を22日(火)からもちます。

今年度は夏休みに入ってから懇談日もありますが、詳しい日時は、担任から後日お知らせします。一人当たり約10分間の懇談となりますので、お聞きになりたいことなどまとめておいていただければと思います。よろしくお願ひします。

8月27日(水)から勉強、28日(木)から給食が始まります

8月の最終週より勉強と給食が始まり、通常の学校生活に戻ります。厳しい残暑が予想されますが、各教室には冷房設備が整い、快適な環境の中で学校生活が出来ます。保護者の皆様も、従来の夏休みのリズムと変わりますので、ご協力よろしくお願ひします。

子ども達の成長を願って

本校では、今年度「感じて 見つけて 考えて いきいき学び合う子」という研究テーマのもと、子ども達に豊かな心とたくましく生きる力を育むことをねらいとして子ども達の指導に当たっています。そこで、基本となる「話し方・聞き方」の力をつけていき、コミュニケーション能力をより確かなものにしていこうと考えています。

また、先日行われた校内の研究授業では、4年生が理科の学習をおこないました。「電池の働きを調べよう」の単元の学習では、子ども達の疑問をどのような実験で解決していったらいいか、また、子どもたちの考え方の交流が活発になるためには、どのような支援をしたらいいかなどを、指導の先生を迎え職員が研修しました。

話し方・聞き方の練習 をしています(各教室に掲示しています)

<話し方名人> 低学年

- ①聞き手を見て、話す。
- ②聞こえるこえで話す。
- ③口をしっかりとあけて、話す。
- ④さいごまで、はっきりと話す。
- ⑤話のじゅんじょをかんがえて話す。

<聞き方名人> 低学年

- ①しずかに聞く。
- ②話し手を見て、聞く。
- ③さいごまで聞く。
- ④だいじなところをおとさずに聞く。
- ⑤じぶんのかんがえとくらべながら聞く。

<話し方名人> 中学年

- ①聞き手を見て、話す。
- ②ちょうどよい声の大きさと速さで話す。
- ③さいごまではっきりと話す。
- ④話のじゅんじょを考えて話す。
- ⑤相手や目てきに合った言葉づかいで話す。

<聞き方名人> 中学年

- ①話し手を見て、聞く。
- ②さいごまでしずかに聞く。
- ③大事なことを落とさずに聞く。
- ④自分の考えとくらべながら、聞く。
- ⑤つけくわえやしつ問ができるようにする。

<話し方名人> 高学年

- ①ちょうどよい声の大きさと速さで話す。
- ②最後まではっきりと話す。
- ③話し組み立てを工夫して話す。
- ④相手や目的に合った言葉づかいで話す。
- ⑤資料を提示しながら、話す。

<聞き方名人> 高学年

- ①最後まで、静かに聞く。
- ②自分の考えと比べながら聞く。
- ③つけ加えや質問ができるようにする。
- ④要点をメモしながら聞く。
- ⑤話し手の意図をつかみながら聞く。

子どもの目 子どもの心

「わたしたちが生まれたとき」～2年生の文から

- へそのおは、50センチもあってびっくりしました。たいばんは15センチだけなのに、おかあさんのえいようやさんそをあつめているなんてびっくりしました。
- ぼくがどうやって生まれてきたのかがよくわかりました。
- おへそが赤ちゃんとかっついてるのは知っていたけど、「へそのお」ということはしりませんでした。
- 赤ちゃんはかるいとおもっていたけれど、おもたかったのでびっくりしました。
- 赤ちゃんをだいたらくびがぐらぐらだったので、くびがとれそうだとおもいました。
- わたしは生まれてきて、ほんとうによかったとおもいました。
- 赤ちゃんはこうやってできるんだ。こんなふうに大きくなっていくんだとわかりました。
- 赤ちゃんは40しゅうかんもかけないと生まれないとは、知りませんでした。

先日の日曜参観日の授業で、2年生は性教育「わたしたちが生まれたとき」という内容を学習しました。保護者の皆様には、事前に①生まれるまでに気をつけていたこと、②生まれたときの気持ち、③今日までのエピソードなどを書いていただき、当日の授業を迎えました。子ども達は、約3000gの赤ちゃんの人形をだっこして、上のような感想をもちました。

学校教育目標『心豊かに自ら学び いきいき活動する子どもの育成』の目指す子ども像の一つに「生命と健康を大切にする 心豊かな子ども」があります。最近の子どもは「自己肯定観(セルフ・イステム)」が弱く、(どうせぼくなんか…)とすぐに思って自暴自棄になりがちです。でも、この世に生まれてきた大切な生命。愛されていない子は一人もいるはずがありません。自分も他人も大切にして、有意義な毎日を送ることを学校でも学んでいきます。